

修 士 論 文 の 和 文 要 旨

研究科・専攻	大学院 情報システム学研究科情報メディアシステム学専攻 博士前期課程		
氏 名	安田 宏章	学籍番号	0950025
論 文 題 目	盲ろう者のための日常コミュニケーション支援デバイスの提案		
<p>要 旨</p> <p>盲ろう者とは視覚と聴覚の両方に障害を負う人たちを示す.この盲ろう者は日本に 22,000 人程いると推定されている.盲ろう者は視覚・聴覚ともに障がいを抱えているために,日常生活には大きな困難が伴うとされている.例えば野外の移動の場合,進路上の障害物を視認することも難しく,周囲の人や車の動きを音で判断することも難しい.全国盲ろう者協会から通訳・介助者派遣などのサービスを実施しているが,法的な支援は乏しいのが現状である.そこで,本研究では盲ろう者が直面する数多くの困難のうち,とくにコミュニケーション上の問題に着目した.盲ろう者にとってコミュニケーションは重要である.相手の言葉を受け入れて理解する能力と自分の意志を伝達する能力をどのような手段で確保することによって盲ろう者の生活は大きく変わる.盲ろう者は外界から情報を得ることにより,ある程度自立して生活することも可能であり,社会復帰への道も開けることがある.そこで本研究では盲ろう者の日常的なコミュニケーションを支援するデバイスを提案した.日常的に利用することを目標にするため,盲ろう者のコミュニケーション方法は加須多く存在するが,そのなかで話す程に文字の伝達が早く,符号化しやすい指点字を利用した.指点字とは両手の人差し指,中指,薬指の3本の指をお互いに差し出し,発信者が受信者の指を点字タイプライターのキーに見立てて点字記号を打つ方法である.本研究では指の打点を打つ動きを加速度センサで認識し,叩かれた感覚を振動子で提示することで指点字で盲ろう者が文字情報を送受信するデバイスを試作した.そのデバイスに対し,性能実験を行うと共に,デバイスと PC,もしくはデバイスと Android 端末の間でコミュニケーションが行えるプログラムを作成し,盲ろう者がいつでもどこでもコミュニケーションが行える事を可能とした.</p>			